慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	博物館における人と空間の関係性に着目したインタラクティブな鑑賞体験のデザイン
Sub Title	Designing interactive museum experience that accounts for screen, human and environment relationship
Author	柴崎, 美奈(Shibasaki, Mina) 稲蔭, 正彦(Inakage, Masahiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	本研究は凸版印刷株式会社との共同研究として、東京国立博物館のTOPPAN VRシアターを中心に博物館の来場者により深い鑑賞体験を提供するためのインタラクションデザインおよびサービスデザインを試みた。博物館にはこれまで人が生み出した貴重な文化財があり、それを鑑賞することで過去の生活を学ぶ事ができる。しかしながら博物館にある展示物は展示物が持つ文脈とは関係なく断片的に並べられていて、その展示物が何を指し示しているのか解らない場合が多い。そこで来場者の行動調査やフィールドワーク、インタビューを行い、博物館における問題点を発掘し、VRシアターを効果的に用いることでより実りのある鑑賞体験ができるような、鑑賞のフレームワークの提案した。そしてVRシアターにおける身体的に展示物を理解出来るような3つのインタラクションメソッドを提案した。その後、プロトタイプを用いた実験を行うことでインタラクションの有効性を検証した。
Notes	修士学位論文. 2012年度メディアデザイン学 第235号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002012-0235

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2012年度（平成24年度）

博物館における人と空間の関係性に着目した インタラクティブな鑑賞体験のデザイン

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

柴崎　美奈

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士 (メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

柴崎　美奈

審査委員：

稲蔭 正彦 教授　（主査）
南澤 孝太 特任講師　（副査）
杉浦 一徳 准教授　（副査）

修士論文 2012年度（平成24年度）

博物館における人と空間の関係性に着目した インタラクティブな鑑賞体験のデザイン

論文要旨

本研究は凸版印刷株式会社との共同研究として、東京国立博物館のTOPPAN VRシアターを中心に博物館の来場者により深い鑑賞体験を提供するためのインタラクションデザインおよびサービスデザインを試みた。博物館にはこれまで人が生み出した貴重な文化財があり、それを鑑賞することで過去の生活を学ぶ事ができる。しかしながら博物館にある展示物は展示物が持つ文脈とは関係なく断片的に並べられていて、その展示物が何を指し示しているのか解らない場合が多い。そこで来場者の行動調査やフィールドワーク、インタビューを行い、博物館における問題点を発掘し、VRシアターを効果的に用いることでより実りのある鑑賞体験ができるような、鑑賞のフレームワークの提案した。そしてVRシアターにおける身体的に展示物を理解出来るような３つのインタラクションメソッドを提案した。その後、プロトタイプを用いた実験を行うことでインタラクションの有効性を検証した。

キーワード：

インタラクションデザイン, サービスデザイン, 博物館, 鑑賞体験, バーチャルリアリティ

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

柴崎　美奈

Abstract of Master's Thesis of Academic Year 2012

Designing Interactive Museum Experience that Accounts for Screen, Human and Environment Relationship

Summary

This research, a collaborative research with Toppan Printing Corporation, attempted to design an interaction and service at a Toppan VR Theater at the Tokyo National Museum of Art that can provide the visitors to the museum with a deeper visitor-experience. At the museum are the precious cultural artifacts the mankind has ever made, and the visitors could learn the human history. However, the items are oftentimes exhibited out of context that the visitors have difficulty understanding what they mean. In this research, fieldworks and interviews on the visitor-behavior were conducted to find out the problems regarding the exhibition to propose a framework for Museum Experience an interaction method that can provide a fruitful visitor-experience at the VR theater. Then, the effectiveness of the propsed method was tested by a prototype.

Keywords:

Interaction Design,Service Design, Museum,Visitor-Experience , Virtual Reality

Graduate School of Media Design, Keio University

Mina Shibasaki